

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)RJR博多駅南	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅南二丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	143 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年8月16日
敷地面積	1,039 m ²	作成者	吉良朋之
建築面積	684 m ²	確認日	2017年8月16日
延床面積	7,486 m ²	確認者	吉良朋之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	89%
③上記+②以外の	89%
④上記+	89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	積極的に自然エネルギーを直接利用し、入居者の快適さや機能性の充実に回りつつ、周辺環境への配慮として、道路境界側に植栽帯を配置し、良好な景観とした。	その他 0
Q1 室内環境	室内を構成する材料については、積極的にF☆☆☆☆材料を選定することで、良好な室内環境を計画している。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺に配慮した建物高さ、配置、緑地計画を行っている。
LR1 エネルギー	低消費係数器具を採用することで、環境への配慮を行っている。	LR3 敷地外環境 駐車場を前面道路から離れた部分に設置することで、渋滞の緩和に寄与すると共に、前面道路沿いに植栽帯を設けている。
Q2 サービス性能	福祉のまちづくり条例の遵守、耐震性、機能的で使いやすい性能を保っている。	
LR2 資源・マテリアル	節水型便器の採用及びコンクリート躯体との仕上材を容易に分別しやすい構成としている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される